

平成30年11月14日

地域公共交通シンポジウム in 北海道

～地域で導き出す最適な地域公共交通体系の形成に向けて～ の開催

JR北海道は、厳しい経営環境に置かれており、一昨年11月に単独では維持困難な線区を公表し、地域における持続可能な交通体系の構築のために地域と協議を行いたい意向を示しました。以来、道内各地域において、地域にとって最適な地域公共交通体系をどう形成していくか、議論が進みつつあります。一方で、既に全国の様々な地域において、交通事業者、地域住民、行政が連携して地域の公共交通を支え、その維持・活性化を図っている取組事例が見られます。

そこで、各地域での取組事例等に詳しい有識者からの講演等を通じて、北海道の各地域にとって最適な地域公共交通体系の形成に向けて、皆様とともに考える機会となるよう、本シンポジウムを開催します。

1 日時 平成30年12月7日(金) 14:00～17:30 (入場無料※先着150名)
(受付 13:30～)

2 場所 TKP札幌駅カンファレンスセンター 3階カンファレンスルーム3D
(札幌市北区北7条西2丁目9 ベルヴュオフィス札幌)

3 内容

【第1部 14:15～15:40】

○話題提供 「JR北海道の経営改善について」

国土交通省鉄道局鉄道事業課長 石原 大

○基調講演 「地域を支える公共交通網の再整備は待ったなし！

～前に進むのか？このまま立ち止まり続けるのか？～」

名古屋大学大学院環境学研究科 教授 加藤 博和 氏

○事例発表 「地方路線維持の考え方、取組について」

公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー 理事事業本部長 前田 忍 氏

(前 大井川鐵道株式会社代表取締役社長)

【第2部 15:55～17:25】

○パネルディスカッション 「地域で導き出す最適な地域公共交通体系の形成」

【パネリスト】

名古屋大学大学院環境学研究科 教授

加藤 博和 氏

北海道網走市長

水谷 洋一 氏

公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー 理事事業本部長

前田 忍 氏

(前 大井川鐵道株式会社代表取締役社長)

国土交通省鉄道局鉄道事業課長

石原 大

【コーディネーター】元 釧路公立大学学長

小磯 修二 氏

(一般社団法人地域研究工房 代表理事)

※ 別紙によりお申込ください。【申込締め切り 11月30日(金)】

※ ご来場の際は、公共交通機関の積極的なご利用をお願いいたします。

※ 取材をご希望される方は、受付にてお申し出下さい。

地域公共交通シンポジウム in 北海道

■ 参加申込書 ■

日本データサービス株式会社 企画部 大島 中野 あて

FAX:011-780-1118

12月7日(金)開催のシンポジウムについて、下記のとおり参加します。

記

氏名	団体名・企業名	所属・役職	連絡先(電話番号)	備考

◆E-mailでの申込も可能です。申込される場合は、氏名、団体名・企業名、所属・役職、連絡先を記載の上、以下のアドレスあてに送信して下さい。

E-mail: mobility_sympo@ndsinc.co.jp

参加申込期限:11月30日(金)まで

主催
国土交通省
北海道運輸局

お問い合わせ・お申込先
日本データサービス株式会社 企画部 大島(オオシマ)、中野(ナカノ)
TEL: 011-780-1121、FAX: 011-780-1118



公共交通利用促進キャラクターのりたろう

シンポジウム会場の位置図

